

障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる別府市条例（素案）に関するタウンミーティング（中学生向け）の結果

1 概要

| | | | | | |
|-----------|--|---------|-------|-------------|------------|
| 開 催 校 数 | 7 校 | 対 象 学 年 | 1・2 年 | 対 象 生 徒 数 ※ | 1, 4 8 9 人 |
| 生徒の感想を読んで | <p>全体的に、この条例に対する期待が大きいという印象を受けました。 ほとんどの生徒が条例の内容に肯定的で、「協力したい」という感想が多く、今後の取組に対する後押しをいただいたように感じ、心強く思いました。</p> <p>一方で、説明がわかりにくいや難しい、もっと具体的なことを聞きたかったなどの意見がありましたので、今後の課題として、次の機会には改善して臨みたいと思います。</p> <p>条例ができた場合は、生徒の期待を裏切らないよう市民の皆さまとともに着実に実行していきたいと考えています。</p> | | | | |

※開催当日の実人数ではありません。

2 生徒からの感想などの抜粋

【朝日中学校 開催日時：平成25年1月10日(木) 14:35~15:35 対象生徒数：307人】

| No. | 生徒からの感想など |
|-----|--|
| 1 | 平成26年4月1日から始めるのは遅いと思うから、もっと早く始めたほうがよいと思いました。 |
| 2 | 実際に相談できない人は、どうすればよいのかと思いました。 |
| 3 | 障がいのある人に手を差しのべてあげたいと思いました。 |
| 4 | 差別や虐待はしてはいけないと感じました。 |
| 5 | 障がいのある人を助けて（支えて）いきたいです。 |
| 6 | できることから協力していきたいと思いました。 |
| 7 | 障がいのある人がどこよりも別府市に住みたいと思えるぐらいの別府市になってほしいです。 |

| | |
|----|--|
| 8 | このような取組が全国に広がってほしいと思いました。 |
| 9 | 障がいのある人の存在を認める、理解してあげることがその人たちにとって一番安心して暮らせることに近いのかなと思いました。 |
| 10 | 障がいのある人が訪れやすい相談場所があったらよいと思いました。 |
| 11 | 自分も意識して取り組みたいと思いました。 |
| 12 | 障がいのある人に協力するとともに、障がいのある人のために自らも努力することが大切であると思いました。 |
| 13 | ノンステップバスなどの車いすの人が乗れるバスの本数をもっと増やしてほしいと思いました。 |
| 14 | 学校などで障がいのある人と触れ合えたら障がいのある人のことも考えられるのではないかと思います。 |
| 15 | 設備を良くしていくだけではなくて、市民の一人ひとりが障がいのある人を手伝ってあげることができれば、設備を良くすることと同じくらい障がいのある人が安心して暮らせると思います。 |
| 16 | 障がいのある人が安心して通える学校にしたいです。 |
| 17 | 車いすの人専用の駐車場には、一般の人は車を止めないでほしいです。 |
| 18 | まずは、「障害」というものについて、市民一人ひとりがきちんと理解することが最優先だと思いました。「障害」というものを理解せずに、障がいのある人のことを理解することはできないと思います。 |
| 19 | 自分のことばかり考えないで、相手のことも考えてあげないといけないと思います。 |
| 20 | 障がいのある人もない人も共に協力し合えばよいと思います。 |
| 21 | この取組をしても差別や虐待は一生続くと思います。 |
| 22 | これからもっと深い考えを身に付けたいと思います。 |
| 23 | 条例をもっと広めてください。 |

| | |
|----|--|
| 24 | 市民の皆さんが全員同じ考えを持てるようになれば、この条例のめざす社会が可能になると思います。 |
| 25 | 3つの取組だけで本当に差別や虐待がなくなっていくのですか。 |
| 26 | 障がいを理解できない人はどうするのですか。 |
| 27 | 差別や虐待がなくなる場合はどうするのですか。 |
| 28 | みんなで支え合いながら生きていきたいと思いました。 |
| 29 | 差別や虐待を見つけたら注意しようと思います。 |
| 30 | 人見知りなので知らない人と話すのは苦手ですが、これからは勇気を持って困っている人に手を差しのべるべきだと思いました。 |
| 31 | 段差を越えられないことを障がい者と呼ぶのはどうかと思う。耳が聞こえない、目が見えないということも障がい者だと思う。 |
| 32 | なぜ、登れない段差があると、それを差別と呼ぶのか。差別ではないと思う。 |
| 33 | この取組には、地域の人々の理解も必要だと思います。 |
| 34 | 今回のことがきっかけで障がいのある人を積極的に助けようという考えができました。こういう授業をさらに増やしたほうがよいと思います。 |
| 35 | これから市がどういう取組をしていくのかが気になってきました。 |
| 36 | 目が不自由な人のために、音がでるタイプの信号をもっと増やせばよいと思います。 |
| 37 | 私はこの別府市が大好きです。このまちに生れて良かったと思っているし、これからもずっと住み続けていきたいと思っています。この思いを同じ人間である障がいのある人にも感じてもらえるような別府市ができればよいと思います。 |
| 38 | 学校などでももっと障がいのある人たちと交流していったほうがよいと思います。 |
| 39 | 大人になったときには、差別などがひとつもない心のきれいな別府市になるように努力していきたいです。 |

| | |
|----|---|
| 40 | なぜ、この条例をつくろうと考えたのですか。 |
| 41 | この条例を別府市の誇りとして、自分たちも頑張っていきたいです。 |
| 42 | 仕事に関して、障がいのため重たい荷物が持てないとしても、ほかにその人ができる仕事があると思います。それでも駄目であれば、その人たちの仕事をつくってあげればよいと思います。 |
| 43 | 障がいのある人への差別をなくすとか、困っている人を助けるとか当たり前のようだけど、それができていないからこのような話しをしているのだなあと思いました。 |
| 44 | 今までの自分を見つめ直して、これからの自分がどのような行動をとればよいかを考えるいい機会になりました。 |
| 45 | よい条例だと思いましたが、そんなことをみんなちゃんとやるのかなと思いました。 |
| 46 | 条例のために協力したいと思います。 |
| 47 | しゃべれない人のために、日常的に必要な用語を書いたプレートや紙があると便利そうなので、つくったほうがよいと思います。 |
| 48 | 点字ブロックがないと、目の不自由な人は限られたことしかできなくなるから、設置したほうがよいと思います。 |
| 49 | 障がいのある人に限らずいじめをされている人がいたら助けたいです。この条例や人を思いながら大人になっていきたいです。 |
| 50 | 障がいのある人がつくったものが普通のお店で売っているとしたら、これは、障がいのある人に生活を支えられているということなのかなと思いました。 |
| 51 | 「障害」と書かないで、「障がい」と書いてほしいです。 |
| 52 | 「障害」というものを改めて考えさせられました。 |
| 53 | 差別や虐待について、どういう処置をするのですか。相談してくれるのでしょうか。相談してくれないのにどうやって人の間に入るのですか。どのような注意をするのですか。 |
| 54 | 障がいの意味を聞いて驚きました。 |
| 55 | 障がいのある人が困っているのを見過ごすことが差別になるから手を差しのべるのではなくて、その人に対して思いやりをもって接したいと思いました。 |

| | |
|----|--|
| 56 | この条例をたくさんの方が意識して守ってくれるようなまちになると、みんな安心して暮らせると思います。 |
| 57 | 西別府病院に飾っている南石垣支援学校の方が頑張った作品を見て、いつも私は励まされています。 |
| 58 | もっと障がいのある人を大切にしてほしいと思いました。 |
| 59 | 車いすが通れるように歩道を広げたりするのですか。 |
| 60 | もっと詳しくこの条例について知りたいと思いました。 |
| 61 | 優しさが私らしさや人間らしさになったときは、難しい言葉も堅苦しい理由もいらなくなって、みんなが笑えると思います。 |
| 62 | 障がいのある人に対する思いやりをもって成長していきたいです。 |

| No. | No.の感想などに対する市のコメント |
|-----|---|
| 2 | 障がいのある人の家族や身近な人でも相談できるようにしています。 |
| 21 | 一生続かせない、差別や虐待をなくすという強い思いで取り組んでいます。市と一緒に頑張って取り組んでいきましょう。 |
| 25 | ①差別や虐待を禁止する、②障がいを理解する、③障がいのある人を見放さないという3本柱は、基本的な取組の姿勢です。これを基に、今後、具体的な取組を検討し、実行していこうと考えています。 |
| 26 | 理解していただけるように根気強く取り組んでいきます。 |
| 27 | 差別や虐待がなくなる場合のことなど考えていません。なくそうとしています。 |
| 31 | 「障害」の見方には、2種類あります。この条例の「障害」の見方は、「音が聞こえない」人が会話の中で手話を必要とすることや「ものが見えない」人が字を読むために点字を必要とすることです。このことを車椅子と段差を使って説明しました。耳や目の状態だけを見る見方は、もうひとつの「障害」の見方です。 |

| | |
|----|--|
| 32 | <p>車いすの人が2階建てのスーパーに買い物に行ったとします。このスーパーには、エレベーターがなく、2階へ行くためには階段しかありません。これでは、この車いすの人は、一人で2階の商品を見たり、手に取ったりして自由に買い物をする事ができません。障がいのある人もない人も人はみんな同じであるのに、なぜこの車いすの人は、2階の商品を買うことができないのでしょうか。</p> <p>このような状況を知っておきながら放置するのは、障がいのある人に対して不利益な取扱いをすることになるので、この条例では「差別」です。そこで、階段にスロープを付けたり、人の力で車いすの人を2階へ上げたり、スーパーの店員が2階の商品を1階へ持ってきたりして、車いすの人が2階の商品を買い物できるようにする必要があります。</p> |
| 40 | 障がいのある人たちの思いを実現するためです。 |
| 45 | めざす別府市に近づいていけるよう市民の皆さんと協力して、前向きに取り組めます。 |
| 51 | 条例では漢字を使うようにしていますので、漢字を使っています。 |
| 53 | <p>そもそも相談してくれるのか？という疑問に対して、差別や虐待を受けた人は、それを好む人は少ないと考えています。好まなければ、それを止めてほしいと思うはずですが、これを自分の力で解決できればよいのですが、解決できない人は他の人の力を借りたいと思うはずですが、それには、その意思を他の人に示す必要があります。そこで、まずは障がいのある人が身近に安心してその意思表示をすることができるよう「相談」という仕組みを用意しているわけです。この相談は、障がいのある人本人だけではなく、家族や身近な人もすることができるようにしています。この相談を受けた後は、市が解決に向けて動いていきます。最終的に行う注意は、強制力はありませんが、「市の言うことに従いなさい。」と差別や虐待をした人に言うことです。</p> |
| 59 | 広げたりしていかなければなりません。しかし、お金がかかることです。優先順位を付けて取り組んでいきたいと考えています。 |

【山の手中学校 開催日時：平成25年1月18日(金) 14:35~15:25 対象生徒数：240人】

| No. | 生徒からの感想など |
|-----|--|
| 1 | このような取組が全国に広がってほしいと思いました。 |
| 2 | 障がいのある人に対する別府市の思いがみんなに伝わったらいいと思います。 |
| 3 | 障がいや差別の意味を聞いて驚きました。 |
| 4 | 「害児」という言葉もみんなが重く受け止めてくれれば、そんな言葉もなくなるのかなと思いました。 |
| 5 | 困っている人を助けてあげたいと思います。 |
| 6 | 障がいのある人を支えていきたいです。 |
| 7 | 障がいのある人もない人も、ともに支え合って生きていくことが大切であると思いました。 |
| 8 | 障がいのある人を理解しようと思います。 |
| 9 | 障害者手帳がある時点で差別していると思います。だから障害者手帳はなくしたほうがよいと思います。 |
| 10 | どんな理由があっても人はみんな同じだと思います。改めて、人権の大切さがわかりました。 |
| 11 | このようなことを考える機会がなかったので、これから少しずつ考えていきたいと思いました。 |
| 12 | 一人ひとりをもっと大切にすることが大事であると思いました。 |
| 13 | スロープなどの設置もよいが、市民のみんなが「心のバリアフリー」をすれば障がいのある人も安心して暮らせると思いました。 |
| 14 | できることから協力していきたいと思いました。 |
| 15 | もし、虐待を受けている人が障がいを持っている方で、会話もできないくらい重度の方で、周りにそのことを知っている人がいなかった場合、どうやって問題解決するのですか。 |

| | |
|----|--|
| 16 | 障がいのある人を差別しないようにしたいと思いました。 |
| 17 | これを機に、別府がもっと住みやすいまちになるとよいと思います。 |
| 18 | 障がいのある人にとってもない人にとってもよい条例であると思いました。 |
| 19 | 障がいのある人たちを介護している人たちのための条例もつくってほしいと思います。 |
| 20 | 一番大切なのは、気持ちということがわかりました。 |
| 21 | 体の不自由な人のことを思えば、例えば、信号をもっと長くするなどの工夫が必要であると思います。 |
| 22 | 条例は本当にいるのかな。スロープ1つにいくらかかるのかな。 |

| No. | No.の感想などに対する市のコメント |
|-----|---|
| 9 | この条例の見方もそうですが、障害者手帳を持っている人が障がいのある人とは限りませんし、逆に障害者手帳を持っていない人が障がいのない人とも限りません。法律の見方もだんだんと変わってきています。 |
| 15 | 差別や虐待があった場合の解決で一番重要なことは、相談です。これがないと、次のステップへ移れません。質問のケースで、もし登場人物がこの2人しかいない場合であれば、問題解決は非常に困難と考えられます。しかし、この2人が日常生活や社会生活を営む上では、他の第三者との接触が必ずあるはずで、この第三者が差別や虐待の事実「気づく」ことが重要になってきます。この気づきが問題解決に向けての相談へと結び付いていくものと考えます。 |
| 19 | 理論的には、この条例を実行することにより、障がいのある人は生活がしやすくなり、不安が解消されていくため、障がいのある人を介護している人たちの現状も改善されるものと考えます。 |
| 22 | 必要と思ってつくっています。別府市に、障がいがあるために生活のしづらさがあったり、不安を抱えている人がいるというのは、まぎれもない事実です。障がいがあってもなくても人はみんな同じです。障がいを経験した事実が理由にならなければなりません。お金はかかるでしょうが、優先順位を付けて、少しずつでも取り組んでいきたいと考えています。 |

【鶴見台中学校 開催日時：平成25年1月21日(月) 14:25~15:35 対象生徒数：310人】

| No. | 生徒からの感想など |
|-----|---|
| 1 | 条例のために協力したいと思います。 |
| 2 | 差別や虐待を見つけたら注意したいです。 |
| 3 | これからは障がいのある人のことも生活の一部だと考えて生活していきたいと思います。 |
| 4 | 困っている人を助けてあげたいと思います。 |
| 5 | 障がいがあってもなくてもみんな同じ（平等）だと思いました。 |
| 6 | 市民の皆さんにこの条例を知って、理解してもらって、予定の日から始められるとよいと思いました。 |
| 7 | この条例がスタートする前から、障がいのある人の手助けをして、市民のみんなが条例の目標に一步步近づいていけるようがんばっていき たいです。 |
| 8 | 障がいのある人ともっと前向きに向き合っていこうと思います。 |
| 9 | 別府は温泉が有名なので、障がいのある人が入りやすいようにしたらよいと思います。 |
| 10 | 障がいのある人を阻むものをなくしていきたいです。 |
| 11 | 差別などを絶対にせず、逆に手助けする人になりたいと思いました。 |
| 12 | 障がいや差別の意味を聞いて驚きました。 |
| 13 | 話を聞いて、この取組を初めて知りましたが、知ったからにはこのことをたくさんの人に伝えていきたいです。条例が始まる前には、別府市 民の当たり前として市民全員が知っておきたいです。 |
| 14 | できることから協力していきたいと思いました。 |
| 15 | 障がいのある人が安心して暮らせるためには、思いやりを持つことが大切だと思いました。 |

| | |
|----|--|
| 16 | 安心して暮らせる別府市の条例を守れるような別府の人になっていきたいです。 |
| 17 | 公共の場はできるだけ安全に過ごせるように工夫したほうがよいと思います。 |
| 18 | それぞれの違いを認め合うことができればよいと思いました。 |
| 19 | 障がいのある人だけでなく、いろんな人が過ごしやすいまちになったらよいと思いました。 |
| 20 | 障がいのある人だけでなく、ない人に対しても差別しないようにしたいと思いました。 |
| 21 | 障がいのある人を助けて（支えて）いきたいです。 |
| 22 | 話を聞いて、もっと知りたいと思いました。 |
| 23 | 障がいのある人を理解しようと思います。 |
| 24 | みんなが助け合って生きていければよいと思います。本当は、条例なんかつくらなくても当たり前にするのはずだから、障がいのある人にもない人にも当たり前優しく接したいです。 |
| 25 | 障がいのある人もない人も思っていることは同じなので、そのことを考えていきたいです。 |
| 26 | 差別をなくすことに取り組むのではなく、障がいのある人と仲良くする交流をするとよいと思いました。 |
| 27 | 私は将来何の仕事に就こうか考えていません。でも、自分の住んでいるまちくらい支えられる人になれたらいいなと思います。 |
| 28 | 障がいのある人の生活をより楽しくさせることが自分たちの役目だと思いました。 |
| 29 | 障がいのある人を教室に入りやすくしてあげることが大切であると改めてわかりました。 |
| 30 | もっと障がいのことについて知り、差別をなくしたいです。 |
| 31 | このような取組が全国に広がってほしいと思いました。 |

| | |
|----|---|
| 32 | これから生まれてくる赤ちゃんたちもサポートできるような新しい命のことも考えたほうがよいと思いました。 |
| 33 | 市民のみんなが協力し、一丸となって作り上げていかなければならないと思いました。 |
| 34 | みんなで協力して、障がいのある人もない人も暮らしやすい安心で安全な地域にしていきたいです。 |
| 35 | 別府市民がどれだけ意識して変えようとしていけるかがポイントだと思います。 |
| 36 | 障がいのある人もない人も、ともに支え合って生きていくことが大切であると思いました。 |
| 37 | 差別をなくすためには、親が子どもにきっちり教えておくことが大事だと思います。 |
| 38 | スロープ付きのバスなどが増えると障がいのある人も過ごしやすくなります。 |
| 39 | 目標を達成するためには、私たち子どもが積極的にまちづくりをしなければならぬと感じました。 |
| 40 | もし、別府市を引越したとしても、そのまちで障がいのある人たちが安心して暮らしていけるまちをつくらなければならないと思いました。 |
| 41 | 障がいのある人と交流を深めていきたいです。 |
| 42 | 条例は、私たちが障がいのある人と向き合うきっかけになると思います。 |

| No. | No.の感想などに対する市のコメント |
|-----|--|
| 26 | 障がいのある人とない人との交流は、障がいに対する理解を深めるためには欠かせないものでありますので、取り組んでいきたいと考えています。 |
| 32 | 障がいを持って生まれてくる赤ちゃんが障がいのない赤ちゃんと同じように、心身ともに健やかに育ていけるよう取り組んでいきたいと考えています。 |

【浜脇中学校 開催日時：平成25年1月22日(火) 14:35~15:25 対象生徒数：112人】

| No. | 生徒からの感想など |
|-----|--|
| 1 | この条例をきっかけに、差別や虐待をなくすことに気を付け、実行に移したいです。 |
| 2 | 困っている人を助けてあげたいと思います。 |
| 3 | できることから協力していきたいと思いました。 |
| 4 | 問題はお金です。どのようにお金を使うのかなどの説明もしてほしいです。 |
| 5 | いい条例だと思うが、この条例を実行することによって、いろいろな問題が起こると思います。 |
| 6 | これからは、周りのことを本当に考えて言動していきたいです。 |
| 7 | 幸せは、それを与えた人が与えられた人からもらえるものだと思います。条例に「障害のある人の手助けを少しでも多くする」と入れれば、手助けをする人もされる人も幸せになると思います。 |
| 8 | 障がいのある人が別府でよかったと思えるような安心して暮らせる別府市がよいです。 |
| 9 | 違いを差別するのではなく、それを理解する、存在を認めるということが大切であることがわかりました。 |
| 10 | 障がいがあってもなくても人はみんな同じだから、差別をしてはいけないと思いました。 |
| 11 | 障がいのある人を助けて（支えて）いきたいです。 |
| 12 | 障がいのある人の思いを受け止めていかなければならないと思いました。 |
| 13 | これを機に、障がいのある人というものを考え直さなければならぬと思いました。 |
| 14 | 障がいのある人を支えたり、支えてもらったりしてお互いの絆を深めていきたいです。 |
| 15 | 自分たちからアンケートをとるより、別府市の障害者手帳を持っている人たち全員からアンケートをとったほうが良いと思います。もし、そのうち1人でも否定する人がいた場合は、条例をつくらぬほうが良いと思います。 |

| | |
|----|---|
| 16 | 一人ひとりの市民が協力することでこの条例は本当の役割を果たすと思います。 |
| 17 | 別府市だけではなく、全国で障がいを理解し、支え合っていけるとよいと思いました。 |
| 18 | 私も家族に障がいのある人がいます。お正月に初詣へ行こうとしたのですが、神社の周りが坂道や階段だったのであきらめました。この条例は障がいのある人の心の支えになると思います。 |
| 19 | 障がいのある人は減らないかもしれない。でも、みんなが協力して、障がいのことについて考え、実行すれば、もっとまちが快適になると思います。 |
| 20 | この条例に書いてあることを実現させるためには、私たち自身の行動や言葉がとても大切なことであると思いました。 |
| 21 | 事業者などにも今回の話を行い、日出町や大分市など隣町と連携し、県レベル、国レベルで障がいのある人が安心して安全に暮らせるようにしてほしいと思います。 |
| 22 | 身体以外の障がいのある人に対する対策の具体例が知りたいです。 |
| 23 | 差別や虐待を見つけたら注意したいです。 |
| 24 | 一人が満足するまちよりも、みんなが満足するまちになったら、ほかのまちに自慢できるまちになると思います。 |
| 25 | この条例を別府市から全国に広げてほしいです。 |

| No. | No.の感想などに対する市のコメント |
|-----|---|
| 4 | お金には限りがありますので、障がいのある人が必要とすることを障がいのある人の意見を聞きながら、優先順位を付けて取り組んでいきたいと考えています。 |
| 5 | 新しいことに取り組んでいきますので、何かしらの問題は起こると思います。しかし、この条例の方向性は間違っていないと思っていますので、問題に直面したときは、それに対処していきたいと考えています。 |
| 7 | 条例では「合理的配慮」という用語を使って定めています。 |

| | |
|----|---|
| 15 | <p>この条例は、障がいのある人だけではなく市民全員に関係するものです。本来であれば、市民一人ひとりからこの条例素案に関する意見をいただきたいところですが、現実的に難しいので、このようなタウンミーティングなどを開催して意見を聞いているところです。</p> <p>考え方は、人それぞれだと思います。障がいのある人でもこの条例に対して賛成する人と反対する人がいて当然です。しかし、障がいがあるために生活のしづらさがあったり、不安を抱えている人がいるのは、まぎれもない事実です。「障がいがあってもなくても人はみんな同じ」であることが否定されない限り、例えこの条例に反対する人がいても、その事実を変えたいというこの条例に賛成する人の思いを尊重することが大事であると考えます。</p> |
| 16 | <p>そのとおりです。</p> |
| 18 | <p>この条例を実行していくことにより、障がいのある人が初詣などへ行く機会を広げていきたいと思います。</p> |
| 21 | <p>議会の議決を受けてから条例が始まるまでの間の期間は、事業者などの関係者へ条例の内容を周知していきます。</p> |
| 22 | <p>今は、条例という市の基本的な考え方を定めようとしているときですので、具体策は、これから考えていくことになります。</p> |

【東山中学校 開催日時：平成25年1月29日(火) 13:50~14:35 対象生徒数：7人】

| No. | 生徒からの感想など |
|-----|---|
| 1 | 障がいのある人に対して、私にだからこそできることをしてあげたい。 |
| 2 | 本当にこの条例がいいのか悪いのか、しっかり議会で話し合っしてほしいと思います。 |

【東山中学校における意見交換の概要】

| 生徒からの質問や意見 | 質問や意見に対する市の回答 |
|--|--|
| 今の別府市には、実際にどのような問題があるのですか。 | 障がいがあるために生活のしづらさや不安があります。 この条例は、障がいのある人が、障がいのない人と同じスタートラインに立ってもらうためのものです。 |
| 安全とは具体的にどのようなことですか。 | 防災のことです。 |
| 子どもたちの中で、障がいのある子どもは、差別され、のけものになっていないですか。 | 知的に障がいのある人が普通学校に行きたくても行けないということがあります。 |

【北部中学校 開催日時：平成25年1月30日(水) 13:35~14:25 対象生徒数：253人】

| No. | 生徒からの感想など |
|-----|--|
| 1 | 「障害」という言葉自体が差別をしていると思いました。同じ人間なのに呼び方が違うのはおかしいと思いました。 |
| 2 | 「障害」と書かないで、「障がい」と書いてほしい。 |
| 3 | 差別や虐待をしないようにしたいです。 |
| 4 | 障がいのある人のことを考えるきっかけになりました。 |
| 5 | 障がいのある人を助けて（支えて）いきたいです。 |
| 6 | 話を聞いて、もっと知りたいと思いました。 |
| 7 | 社会の中で、みんなが思いやれば、笑顔が増えると思います。 |
| 8 | できることから協力していきたいと思いました。 |
| 9 | このような取組が全国に広がってほしいと思いました。 |
| 10 | 差別や虐待を見つけたら注意したいです。 |
| 11 | 一人ひとりが助け合える（支え合える）ように頑張りたいです。 |
| 12 | ほかの中学校や小学校の人、新しく入ってくる1年生にも差別をしてはいけないことを教えていきたいです。 |
| 13 | 障がいのある人を理解していきたいです。 |
| 14 | 今日学んだことは、「絆」です。みんなで話し、考え、確かめ合うことで、障がいのある人がより住みやすく、すべての人が平等となるよう不自由な暮らしがあれば、みんなで改善していきたいです。 |
| 15 | この条例は、障がいのある人を特別扱いしているような気がします。この条例によって、逆に過ごしづらくなる人がいると思いますので、条例がなくても、自然にこのようなことができるとうよいと思います。 |

| | |
|----|---|
| 16 | 全国民が障がいのある人に対する配慮や思いやりができるように意識すれば、すべての人が過ごしやすい国にできるのではないかと思います。 |
| 17 | 障がいがあってもなくても人はみんな同じだから、差別やいじめをしてはいけないと思いました。 |
| 18 | 親亡き後にどのような支援をするのか具体的に知りたかったです。 |
| 19 | 別府市全体が太陽の家みたいに障がいのある人もない人も楽しく一緒に生きていければいいなと思いました。 |
| 20 | 障がいのある人の立場になって考えてみれば、自分にもできることがあると思います。 |
| 21 | 人間は、他人のことを認めないから差別が生まれてしまうものであるので、障がいのある人を皆が認め、みんなが支えてあげたら差別がなくなるのではないかと思います。 |
| 22 | 障がいのある人でも働ける社会になってほしいです。 |
| 23 | 障がいや差別と向き合ったら、もっとよいまちになると思いました。 |
| 24 | 市民全員がこの条例の「障害」を理解してくれたら、考え方も変わると思います。 |
| 25 | 条例をつくっても、実際にできなかつたら意味がないので、別府市民全員で協力していかなければならないと思いました。 |
| 26 | 学校などの施設が障がいのある人もない人もすべての人が利用しやすくなっているのか確認してほしいと思いました。 |
| 27 | 障がいのない人は、障がいがあるために生活のしづらさや不安を抱えている人たちがいるということを知ってほしいと思いました。 |
| 28 | できれば、条例の始まりをもっと早くしてほしい。 |
| 29 | 障がいのある人に対する考えが変わるような内容でした。 |
| 30 | 障がいや差別の意味を聞いて驚きました。 |
| 31 | 障がいのある人にやさしく接したいです。 |

| | |
|----|--|
| 32 | 細やかな気遣いのできる人になりたいです。 |
| 33 | この条例で、別府市がもっと良くなると思うし、別府市に来たい人も増えると思いました。 |
| 34 | どんなに小さなことでも人が喜んでくれることをしたいです。 |
| 35 | 障がいのある人への思いやり、支える心、優しさなどを持つべきだと思いました。 |
| 36 | この条例が認められ、約8,700人の障がいのある人が笑顔で安心して暮らせるようになってほしいです。 |
| 37 | 障がいのある人を手助けしても、みんなが喜ぶとは思いません。障がいのある人の中には、自分が障がいを持っていると自覚したくない人もいます。手助けとは差別ではないかと思えます。 |
| 38 | いろいろな人と協力し合い、支え合い、どんな人ともみんなが仲良くなれる、そのようなまちが「住みやすく、訪れやすい」まちになると思えます。 |
| 39 | 差別や虐待があった場合に、本当に解決してくれるのか、正直不安です。 |
| 40 | 市が障がいに対していろいろ考えてくれていると思うと、いいまちに住んでいるなと思いました。 |
| 41 | 「北中は差別をしない学校」と胸を張って言える学校にしていきたいです。 |
| 42 | 自分も一人じゃできないときに手伝ってもらったことがありました。人は、誰しも人生で1回は障がい者になるのではないかと思いました。 |
| 43 | いち別府市民としての自覚をきちんと持ってこれからの生活に臨みたいし、条例は平成26年4月1日から始まる予定だけど、今日からでもできることはたくさんあると思うので、実行していきたいです。 |
| 44 | みんながもっと相手の気持ちになったら、差別がなくなっていくのではないかと思いました。 |
| 45 | 自分たちが大人になるまでに1度は考えないといけない問題だと思えます。 |
| 46 | 学校でも差別をなくすために、障がいやいじめについての授業をしてほしいと思いました。 |
| 47 | 障がいのある人を助け、共に生きていきたいと思いました。 |

| | |
|----|--|
| 48 | この条例で、別府が日本で1番いい市になればよいと思う。それができるのは、市民一人ひとりなので、ちっぽけでもいいから市民の存在を示したいです。 |
|----|--|

| No. | No.の感想などに対する市のコメント |
|-----|---|
| 1 | <p>「障害」の呼び方や表記に関しては、いろいろな意見があります。表記に関しては、国においても検討されましたが、「障害」、「障碍」、「障がい」、「チャレンジド」、「要支援者」など、その結論は得られていません。</p> <p>そもそもなぜ「障害」という言葉が存在しているのでしょうか。これは、言葉のもつ分類機能（物事の意味を区別する機能）によるものと考えられます。今、現に「障害」と呼ばれているものがこの世に存在しています。それを指し示す言葉が必要ということで、これまで「障害」が使われてきています。</p> <p>人間が言葉を使う生き物であり、その言葉に分類機能が備わっている限り、現在使用している「障害」を使わなくなっても、別の言葉で表わされる可能性が非常に高いです。</p> |
| 2 | 条例では漢字を使うようにしていますので、漢字を使っています。 |
| 15 | 障がいのある人に対して、特別な権利や新しい権利をつくるものではありません。障がいのある人が、障がいのない人と同じような生活を営むために必要となるものです。ただし、この条例によって、過ごしづらくなる人がいれば、その意見も聴いて、今後の取組に活かす必要はあると考えます。 |
| 18 | 今は、条例という市の基本的な考え方を定めようとしているときですので、具体策は、これから考えていくことになります。 |
| 26 | 確認する必要はあると考えます。 |
| 37 | 手助けは、差別ではありません。しかしながら、何をするにしても本人の意思を尊重する必要がありますので、手助けも本人の意思を尊重しましょう。 |
| 39 | その不安は、市が条例を着実に実行することによって取り除かれるものと考えます。 |

【中部中学校 開催日時：平成25年2月15日(金) 13:40~14:30 対象生徒数：260人】

| No. | 生徒からの感想など |
|-----|--|
| 1 | この条例で、少しでも障がいのある人を無視したりする人が少なくなればいいなと思いました。 |
| 2 | これからは、障がいのある人にもない人にも優しくしていこうと思いました。 |
| 3 | 条例を早く実行してほしいと思いました。 |
| 4 | これから別府市全体で障がいのある人もない人も安心して安全に暮らせる社会をつくるために自分も協力しないとイケないと思いました。 |
| 5 | 障がいのある人やその保護者の方への心のケアや相談できる場所を増やす、又はもっと目につくようにしたほうがよいと思いました。 |
| 6 | 施設をつくるとお金がかかるので、人と人の助け合いができる市をつくりたいと思います。 |
| 7 | 市のホームページにも相談できるようなものをつくって、もっと気軽に誰でも相談できるほうがよいと思いました。 |
| 8 | 困っている人に手助けしていきたいです。 |
| 9 | みんながわかり合えるまちにしたいです。 |
| 10 | 障がいのある人を助けて（支えて）いきたいです。 |
| 11 | 障がいを理解する心がけが必要であると感じることができました。 |
| 12 | 条例をもう少し早くスタートさせてもいいと思いました。 |
| 13 | もっと障がいについて考えようと思いました。 |
| 14 | 障がいのある人に対する接し方に気を付けていきたいです。 |
| 15 | 自分も障がいのある人のために頑張っていきたいと思いました。 |

| | |
|----|--|
| 16 | 多くの人が障がいを理解することが大切だと思いました。 |
| 17 | 身近なことから解決していき、大きなことにつなげていくとよいと思います。 |
| 18 | 個人の協力が大切であると感じました。 |
| 19 | 個人を認めて、助け合っていくことが大切であると思いました。 |
| 20 | 小学校の頃から障がいのある子と共に生活すれば、温かい心が生まれると思います。 |
| 21 | この条例の下で、別府が誰にでも住みやすいまちになってほしいです。 |
| 22 | これをきっかけに、もっとたくさんの人にも条例について考えてほしいと思いました。 |
| 23 | この条例を別府市だけではなく、他の県や地域にも広げて行ってほしいと思いました。 |
| 24 | 心のバリアフリーが大事という言葉が心に残りました。 |
| 25 | できることから取り組みたいと思いました。 |
| 26 | 共に助け合い、いつも笑顔でいられたら、少しでも平和な世界になると思います。 |
| 27 | 障がいのある人、ない人、それぞれが協力し合って生きていくことが全員にとってベストだと思います。 |
| 28 | 初めての試みなので、成功すればいいなと思います。 |
| 29 | 条例で決められたからではなく、自然と助け合えるようになることが共生していく一歩のような気がしました。 |
| 30 | この条例ができるのが楽しみです。 |
| 31 | 略称をつくることに対して、「市民全員で助け合う条例」などの題名にするといいと思います。 |

| | |
|----|--|
| 32 | 未来に役立つことを知っていれば、自分にも役に立つし、人にそうやって接することができると思います。 |
| 33 | 差別などを気付かないうちに行っているのかも改めて思いました。 |
| 34 | 障がいのある人の意見を第一にしてほしいと思いました。 |
| 35 | 一人ひとりの心がけが大事だと思います。 |
| 36 | 思いやりや人を尊重すること、謙虚な思いが大切だと思います。 |
| 37 | みんながもっと人の気持ちを考えたら、絶対、よい社会ができると思います。 |
| 38 | 障がいのある人もない人もみんな一緒だと思います。 |
| 39 | 障がいのある人のことをよく知って、これからも優しく接していきたいです。 |
| 40 | 障がいのある人はもちろん、障がいのない人にとっても助けや協力が必要なので、助け合いや協力はすごく大事なことで改めて実感しました。 |
| 41 | 市と市民が一緒になって別府市をつくっていければよいと思います。 |
| 42 | 差別をなくすということは、同時に障がいのある人とない人の境がなくなるということだと思うので、障がいのある人もない人も仲良く過ごせるような気がします。 |
| 43 | 差別や虐待は、注意するだけでは直らないと思うから、例えば、差別をしたら「罰金を払う」などのきまりをつくったほうがよいと思います。 |
| 44 | 条例をつくることはとてもよいことだと思いますが、障がいのある人たちばかりを優遇するのはやっぱりおかしいと思います。 |
| 45 | 障がいのある人もない人も困ることがなく暮らせる未来がくるように、将来自分が変えていきたいです。 |
| 46 | 障がいのある人を支えることが障がいのある人たちのためになると思いました。 |
| 47 | 差別や虐待をなくしていくのはなかなか難しいとは思いますが、一人ひとりが意識すればなくなると思います。 |

| | |
|----|--|
| 48 | 体の不自由な人を虐待したり、差別したりすることはいけないという法律をつくれればよいと思いました。 |
| 49 | 障がいのある人と向き合っていきたいと思います。 |
| 50 | 誰もが安心して安全に暮らせるようになる第一歩だなと思いました。条例ができたからといって、その瞬間から差別や虐待がなくなるわけではないので、積極的に広めてほしいと思いました。 |
| 51 | 条例をつくるに当たって、障がいのある人の意見をもっとたくさん聞いてほしいです。 |
| 52 | 障がいのある人も差別を受けて辛いですが、障がいのある人の家族も辛い思いをしていると思うので、その人たちにも手を差しのべてほしいです。 |
| 53 | 皆が障がいについての正しい知識を持ち、偏見のない社会になればよいと思います。 |
| 54 | この話を聞いて、本当の平等な社会とは何かと思いました。一方的に障がいのある人を保護しているとそれこそ壁をつくってしまいます。 |
| 55 | 障がいのある人を理解して、障がいのある人を受け入れていこうと思います。 |
| 56 | 互いに認め合いながら、誰にでもどんな人にも手を差しのべていけるようにしたいと思います。 |
| 57 | 条例を誇りに思えます。 |
| 58 | 声をかけることによって人を支えられると思いました。 |
| 59 | この条例ができるまでに市民のみんなが障がいについてよく知って、認め合って、支え合えるようになりたいです。 |
| 60 | もうすぐ大人になってリードしていく立場になるので、障がいについてよく知って、次の世代の人へと伝えていきたいです。 |
| 61 | 自分も別府市民として考えていこうと思いました。 |
| 62 | バス停にバスが着いたら、音声などで「～バス。～ゆき。」などと言えば、目の不自由な人も助かると思います。 |
| 63 | この条例をみんなが知ることが大事だと思います。 |

| | |
|----|--|
| 64 | もっと相談しやすい環境をつくっていかねばならないと思います。 |
| 65 | イメージキャラクターをつくってみてはどうか。 |
| 66 | 障がいのある人もない人も同じ気持ちを持っています。そのことが多くの人に知られるとよいと思います。 |
| 67 | もっとバリアフリーにしていったほうがよいと思いました。 |
| 68 | みんな平等に生きるべきだと思います。 |
| 69 | 障がいのある人を差別するような人がいたら注意したいと思います。 |
| 70 | 具体的なことが知りたかったです。 |
| 71 | 障がいのある人もない人も同じ人という考えを市民みんなが共有することが大切であると思います。 |
| 72 | 別府市民の一員として、自覚を持って、差別や虐待をなくすために尽力できるような正義ある人になりたいです。 |
| 73 | 障がいのある人の存在を認める、人を思いやる、人と支え合うことをみんなが意識していったらすごく素敵な別府市になると思いました。 |

| No. | No.の感想などに対する市のコメント |
|-----|---|
| 5 | 相談を含めて、障がいのある人からの声は、これまであまり社会からは見えない、表面化することのなかった「障がいのある人にとって支障となるもの」の存在を示すものであります。この貴重な声を発しやすく受け止めることのできる環境を整える必要があるものと考えています。 |
| 31 | 共生社会の実現に欠かせない力強い思いが込められていると感じます。このように、愛称のような形で呼べればと考えています。 |
| 43 | この条例は、差別した人に罰を与えて、その人を戒めるという性格のものではありません。市民の皆さまに障がいを理解していただいて、障がいのある人とない人とが支え合うまちをつくっていきましょうというものです。 |
| 44 | この条例は、障がいのある人を優遇するものではありません。障がいのある人が、障がいのない人と同じような生活を営むために必要となるものです。 |
| 48 | 虐待に関しては、「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」が平成23年6月に制定され、平成24年10月から施行されています。差別に関しては、「障害者差別禁止法」という法律がつけられようとしています。 |

| | |
|----|--|
| 52 | 条例のことを障がいのある人とその関係者が話し合う過程の中でも同じような意見がでていましたので、障がいのある人のみに限らず、「その家族」に対する理解も深めるよう定めています。 |
| 54 | この条例は、障がいのある人に対して、特別な権利や新しい権利をつくるものではありません。障がいのある人が、障がいのない人と同じような生活を営むために必要となるものです。 |

【中部中学校における意見交換の概要】

| 生徒からの質問や意見 | 質問や意見に対する市の回答 |
|-------------------------------------|---|
| 親亡き後等の問題を解決するための取組の具体策は。 | 今の段階では、具体的な取組の答えはでていません。今後、皆さんと一緒に取り組んでいきたいと考えています。 |
| 虐待の範囲は。 | 個々の虐待のケースによりますので、一概に範囲を定めることは困難です。 |
| 差別や虐待をどうやって早期発見するのか。 | まずは、相談をしていただくことですが、市民の皆さまが差別や虐待に対する意識を持つことが大切です。 |
| 条例を広めるに当たって、どのような活動をしていますか。 | タウンミーティングや市報、ホームページで情報発信をしています。条例が施行されましたら、より一層、行っていきたいと考えています。 |
| 災害時において、障がいのある人に対してどのような配慮をしますか。 | それぞれの障がいに応じた、個別の支援計画が必要となります。 |
| 介助犬が入れるお店を増やしたほうがよいのではないか。 | 法で入れるようになっていますが、行政としては、配慮の気持ちを育んでいくことが必要であると考えています。 |
| 障がいのある人もない人も共存するマンションなどの施設をつくってほしい。 | 条例でめざす考えではありますが、お金がかかることです。優先順位を付けて取り組んでいきたいと考えています。 |
| 障がいのある人もない人も楽しく遊べる交流会があったらよいのではないか。 | 今後増やしていきたいと考えています。 |
| 同年代との交流があれば、楽しく相互理解ができるのではないか。 | 今後増やしていきたいと考えています。 |
| 題名を短くして、市民に親しみやすくできないか。 | 愛称のような形で呼べればと考えています。 |
| 障がいのある人もない人も共に助けるといふ考えのほうがよいのではないか。 | それが私たちの願いであります。 |